

コンドウハウスで 実現したいこと

NPO法人新しい住まい方研究所
太田 好泰

本日本話すること

いま何をしているか

みんなの居場所「コドウハウス」でしていること

これから何をしたいのか

NPO法人新しい住まい方研究所で何を実現したいのか

いま思うこと

発見やエピソード、そして課題

地域の居場所 コンドウハウス

さいたま市緑区三室
築約60年の民家を改修
2022年4月オープン



地域の居場所
コンドウハウス



コンドウハウスで 現在していること

カフェ Konキッチン

水曜日～土曜日 11時30分～16時30分
タイ料理とバインミー、約20種類のテーマメニュー
敷居を下げ、間口を広げる「入口」としての機能

三室・山崎子ども食堂

毎月第4土曜日
弁当の配布（約80食前後）

シニアの食堂

毎月1回、第4木曜日に夕食を提供

大古里サロン

毎月2回 第1・3火曜日 11時～15時

介護者カフェ三室

毎月2回 第2・4火曜日 11時～15時

コンドウハウスで 現在していること

子どもの発達サポートサロン

毎月1回 第4火曜日 11時~14時

新しい住まい方研究会

不定期開催

不動産×福祉、建築士、法人スタッフによる、住まいを中心とした
コミュニティのありかた、居住支援のありかたを考える勉強会

コンドウエリア会議

不定期開催

市内の福祉関係者（5名）と法人スタッフによる、コンドウハウスの
地域をベースに課題の検討や理想のコミュニティを考えるチーム

Konキッチン



三室・山崎子ども食堂



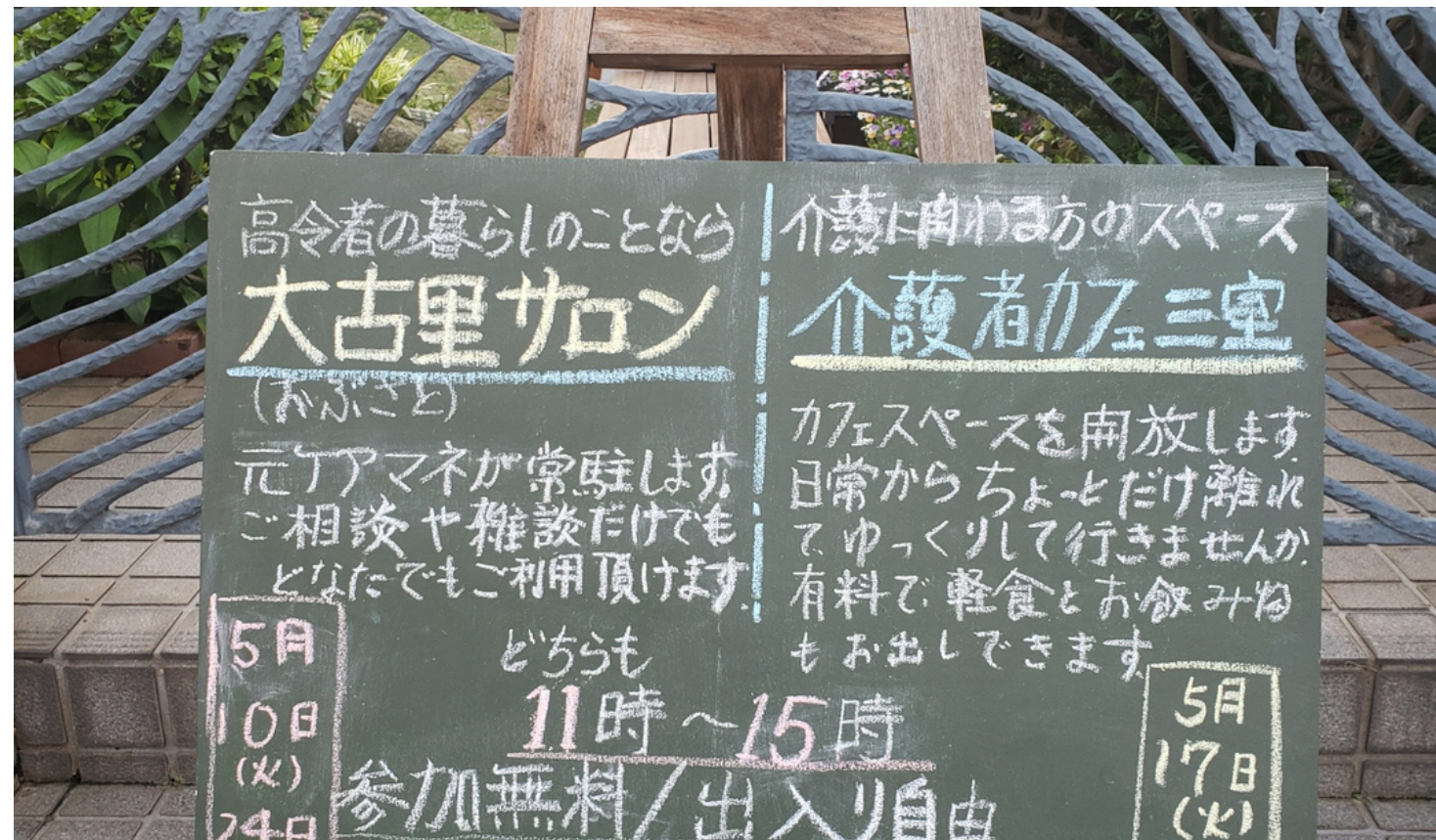
シニアの食堂



高齢者サロン／介護者カフェ

子どもの発達サポートサロン

*画像は「子どもの発達サポート講座」



NPO法人新しい住まい方研究所

2022年1月設立

「住まい・食・しごと・つながり」をキーワードに、共同体を編みなおし、誰もが安心して住み、豊かに暮らし、そして安心して人生の最期を迎え、旅立てる仕組みや場所を研究し実現する。

NPO法人新しい住まい方研究所で実現したい社会

「住まい・食・しごと・つながり」をキーワードに、共同体を編みなおし、誰もが安心して住み、豊かに暮らし、そして安心して人生の最期を迎え、旅立てる仕組みや場所を研究し実現する。

しくみをつくる

「みんな不動産」

誰も入居を断られない住まいのしくみをつくる
(居住支援)

場をつくる

「みんなハウス」

「みんなキッチン」

「みんなリビング」

住むところ・食べるところ・つながるところ
安心して暮らせる仕組みと仕掛けをつくり、
つながり（コミュニティ）をつくる

ここに至った経緯

「住まい」を中心にコミュニティをつくりたいと思った理由

障害者アートのNPO時代に出会った、障害のある人たち（親子）の住まいのあり方を変えたい
「親亡き後」問題

茨城県でのタイレストラン経営時に、タイ人（外国人）コミュニティに身を置いて感じたこと

コロナ禍で浮き彫りになった社会的弱者とされる人々を取り巻くさまざまな現実と課題

気がつけば自分自身の問題でもある
還暦を迎えた自分は「住宅確保要配慮者」

住まいの問題に向き合い、誰もが安心して住み、暮らせる社会につくりたい！

いま思うこと

はじめて向きあう地域コミュニティ

リアルな場があることの意味

一気に広がり、つながった多様な人々・組織

課題と展望

ありがとうございました

